

2018年度生物（魚類）分類・生態研修会

主催/愛知県自然観察指導員連絡協議会 名古屋自然観察会 後援/日本自然保護協会

本事業は、なごや生物多様性保全活動協議会の活動支援の助成を受けて実施します

演題：「愛知県における外来魚問題」



2018年10月8日（月・祝）

受付 13:15~
講演 13:30~15:50
休憩 (10分)
意見交換会 16:00~16:20
懇親会 17:00~19:30

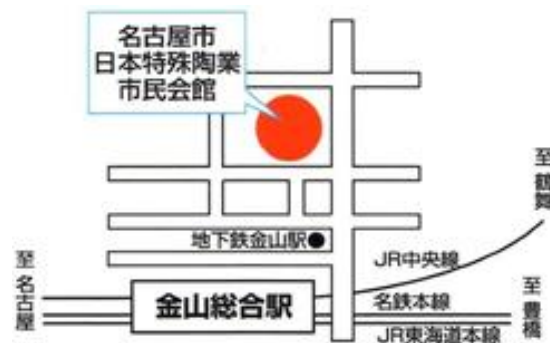
場所：日本特殊陶業市民会館

3F第1会議室

名古屋市中区金山1-5-1
Tel(052)331-2141

地下鉄・JR・名鉄金山駅

北口から徒歩5分



事前申込のお願い 誰でも参加できます。申込締切 10月1日(月) 申込連絡先は裏面参照



講師：谷口義則氏

名城大学理工学部環境創造学科准教授

プロフィール

北海道大学大学院地球環境科学研究科・博士課程修了。博士（地球環境科学）。
環境省希少野生動植物保存推進員，愛知県絶滅危惧種調査検討委員，愛知県外来
種調査検討会委員，名古屋市環境局動植物実態調査検討会委員，IUCN（国際自然
保護連合・淡水魚類スペシャリストグループ）日本地域副チェア，日本魚類学会
自然保護委員会委員，ほか

●講演要旨

本講演では、愛知県に生息する外来魚類について報告します。オヤニラミはスズキ目ケツギョ科の在来淡水魚で、本州の西部に自然分布していますが、本来分布しないはずの愛知県で確認されるようになりました（国内外来魚と呼ばれます）。肉食性で、縄張りを持ち、攻撃的であることから在来魚に負の影響を及ぼす可能性があります。そのため、愛知県では「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」により移入種として規制対象に選定されています。犬山市を流れる五条川源流部におけるオヤニラミの生息状況、年齢組成、体長、食性、本種の駆除に必要な努力量等について報告します。

加えて、もう1種、コイの問題について報告します。コイは、野生型（日本在来）と飼育型（ユーラシア大陸から移入）の2タイプに分けられ、愛知県内に広域に生息するコイのほとんどは後者の飼育型もしくは野生型と飼育型の交雑個体です。

コイは、汚染に強く、雑食性で、大型化し、淡水水域で単一優占種と化して生態系を乱すことが報告されています。例えば、底生動物や底生付着藻類を採餌する際に泥を巻き上げ、富栄養化や透明度の低下、さらには水草を減少させる要因とも言われています。結果、世界の侵略的外来種ワースト100に指定されています。日本では、市民による放流や給餌により、不自然なほどの生息密度になっている都市河川がよく見られます。

コイが多く生息する河川では他の水生動物との関係はどうなっているのでしょうか？これまであまり明らかにされなかった河川におけるコイが生態系に及ぼす影響の実態に迫ります。



事前申込のお願い

当日、満席が予想されますので、事前に参加人員を把握したいと思います。会場準備の都合上、事前申込にご協力ください。会員以外の方も参加できます。参加費は無料です。

申込締切 10月1日(月)必着

申込先/事務局 石原 電話・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。

電話:052-711-3087 FAX:052-711-3087 メール:norimameobata@yahoo.co.jp

なお申し込みの際は、①氏名 ②電話番号

③メールアドレス ④お住まいの市町村 ⑤所属

⑥参加項目 「研修会+懇親会」または「研修会のみ」を御連絡ください。

当会会員は各支部連絡先へも申込できます。

名古屋支部: 滝田久憲 takilin@sf.starcats.ne.jp

尾張支部 : 松尾 初 gikmatuo@re.commu-fa.jp

知多支部 : 榊原 靖 ysakaki@cac-net.ne.jp

西三河支部: 三田 孝 mita.takashi@nifty.com

東三河支部: 寺本和子 naturekt@wf7.so-net.ne.jp



pixta.jp - 5723468

研修会終了後、谷口義則先生を囲んで懇親会を行います。

飲み放題付 3,500 円

17:00~19:30

場所: だんまや水産金山駅南口店(金山スクウェアビル4F)

052-678-0151